



旅行に関する支出



- 家計調査結果より -

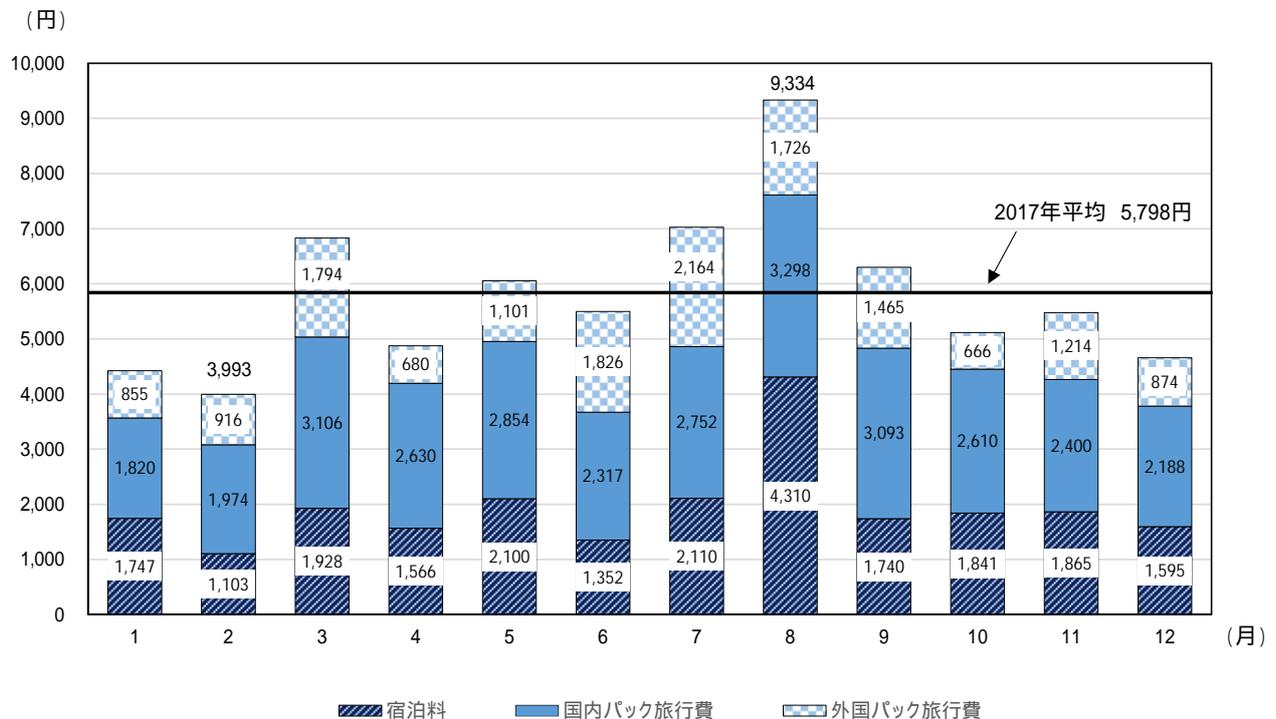
8月になり、暑い日が続きますが、夏休みには旅行に出かけて家族の思い出を作る方も多いのではないのでしょうか。そこで、今月は家計調査（二人以上の世帯）の結果から、旅行に関する支出について見てみましょう。

8月に支出が多い旅行費

まず、2017年の旅行費^(注)を月別にみると、8月は9,334円と最も多くなっています。次いで、7月、3月などとなっており、夏休みや春休みなどがある月で支出が多くなっています。旅行費の内訳をみると、「宿泊料」及び「国内パック旅行費」のピークは8月、「外国パック旅行費」のピークは7月となっています。「外国パック旅行費」については、料金を早めに支払うことが多いため、ピークが早くなっていると考えられます。8月の旅行費は、最も支出が少ない2月に比べ2.3倍となっています（図1）。

（注）ここでは、「宿泊料」及び「パック旅行費」の合計を「旅行費」としています。

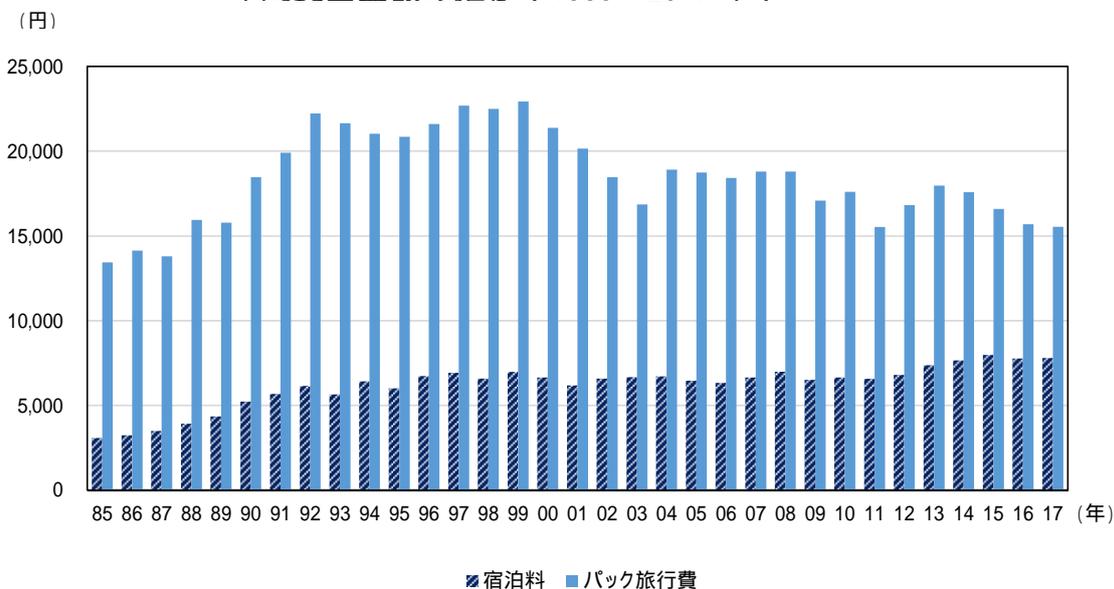
図1 1世帯当たり旅行費の月別支出金額（2017年）



宿泊料は増加傾向

次に、「宿泊料」及び「パック旅行費」の世帯人員1人当たりの年間支出金額の推移を見てみましょう。「宿泊料」は、1985年は3,075円であったのに対し、2017年は7,804円と、緩やかに増加しています。一方、「パック旅行費」は、1999年をピークに減少傾向になっています（図2）。

図2 「宿泊料」及び「パック旅行費」の世帯人員1人当たり年間支出金額の推移（1985～2017年）



1999年以前は、農林漁家世帯を除く結果

「パック旅行費」は、年齢階級が高くなるにしたがって多い

最後に、「宿泊料」及び「パック旅行費」の年間支出金額を世帯主の年齢階級別に見てみましょう。「宿泊料」は、各年齢階級で大きく変わらず、40～49歳の世帯が最も多くなっています。一方、「パック旅行費」は年齢階級が高いほど支出金額が多くなっており、最も多い60歳以上の世帯の支出金額は、最も少ない39歳以下の世帯と比べ2.2倍となっています（図3）。

図3 「宿泊料」及び「パック旅行費」の年齢階級別1世帯当たり年間支出金額（2017年）

